

国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本語教育のための言語能力の測定

著者	野元 菊雄
雑誌名	創立30周年記念研究発表資料
ページ	20-20
発行年	1978-12
URL	http://doi.org/10.15084/00002987

第 三 部

7. 日本語教育のための言語能力の測定

日本語教育センター長 野 元 菊 雄

1. 研究目的 …… 外国人に日本語を効果的に習得させるためには習得すべき日本語能力についてその到達すべき目標を明らかにし、客観的な基準を設定することが大切である。特に話しことばについては、その実際の運用面の研究が遅れているので、まずその実態を把握しなければならない。これにより、能力測定の客観的な基本資料を得ることを目的とする。
2. 調査方法 …… 実際の話しことば場面での録音、およびその場面の記録によって、原資料を得る。114時間分の録音をし、文字化を完了した。
3. 資料の集計・分類 …… 話しことばの文の長さ、表現意図からみた文の分類などについて現在までの集計結果を一部発表する。当日プリントとして渡す予定。
4. 今後の課題 …… ある表現意図に対して、日本語ではどのような表現形式が当たるかがわかり、外国ではこの対当関係がどうなっているかなどを知って、日本語学習者が日本の社会で実際に日本語を運用するという場合に求められる言語能力の測定基準を設定し、どう教えるべきか、の方策を立てることを考える。